

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成29年11月】

■調査概要（データ対象期間：平成29年11月1日～11月30日）

- 調査期間：平成29年11月30日～12月20日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業25企業、製造業20企業、卸売業15企業、小売業29企業
飲食業17企業、サービス業44企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計150企業>
- 調査項目：**11月**の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注) DI (Diffusion Index) 値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはマイナス幅が拡大・水準DIはマイナス幅が拡大

1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲3.3）よりマイナス幅が1.4ポイント拡大し、▲4.7となった。業種別では、建設業はプラス幅が拡大した。卸売業は先月の(6.7)から変わらず、飲食業はマイナスから0になった。サービス業、製造業は0からマイナスになった。小売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲7.3）よりマイナス幅が0.1ポイント拡大し、▲7.4となった。業種別では、建設業は0からプラスになった。卸売業は先月の0から変わらず、飲食業はマイナス幅が縮小した。小売業、サービス業、製造業はマイナス幅が拡大した。

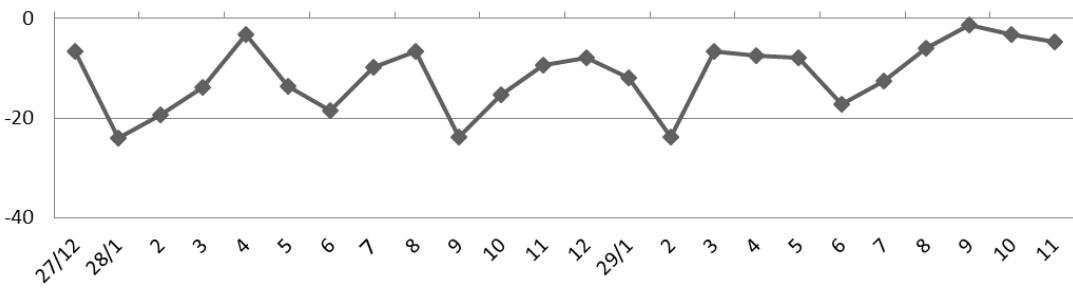
業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準				DI
	好転%	不变%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%		
合計	14.0 (15.2)	67.3 (66.3)	18.7 (18.5)	▲ 4.7 ↓ (▲ 3.3)	15.3 (13.2)	62.0 (66.3)	22.7 (20.5)	▲ 7.4 ↓ (▲ 7.3)	
建設業	16.0 (13.6)	76.0 (77.4)	8.0 (9.1)	8.0 ↗ (4.5)	12.0 (9.1)	80.0 (81.8)	8.0 (9.1)	4.0 ↗ (0.0)	
製造業	20.0 (22.7)	50.0 (54.6)	30.0 (22.7)	▲ 10.0 ↓ (0.0)	20.0 (22.7)	50.0 (50.0)	30.0 (27.3)	▲ 10.0 ↓ (▲ 4.6)	
卸売業	20.0 (20.0)	66.7 (66.7)	13.3 (13.3)	→ 6.7 → (6.7)	20.0 (20.0)	60.0 (60.0)	20.0 (20.0)	0.0 → (0.0)	
小売業	10.3 (19.4)	58.7 (51.6)	31.0 (29.0)	▲ 20.7 ↓ (▲ 9.6)	17.2 (16.1)	48.3 (51.6)	34.5 (32.3)	▲ 17.3 ↓ (▲ 16.2)	
飲食業	17.6 (0.0)	64.8 (80.0)	17.6 (20.0)	↗ 0.0 ↗ (▲ 20.0)	11.8 (5.0)	64.7 (75.0)	23.5 (20.0)	▲ 11.7 ↗ ▲ (▲ 15.0)	
サービス業	9.1 (14.6)	77.3 (70.8)	13.6 (14.6)	▲ 4.5 ↓ (0.0)	13.6 (9.8)	65.9 (75.7)	20.5 (14.6)	▲ 6.9 ↓ (▲ 4.8)	

()内は前月データ

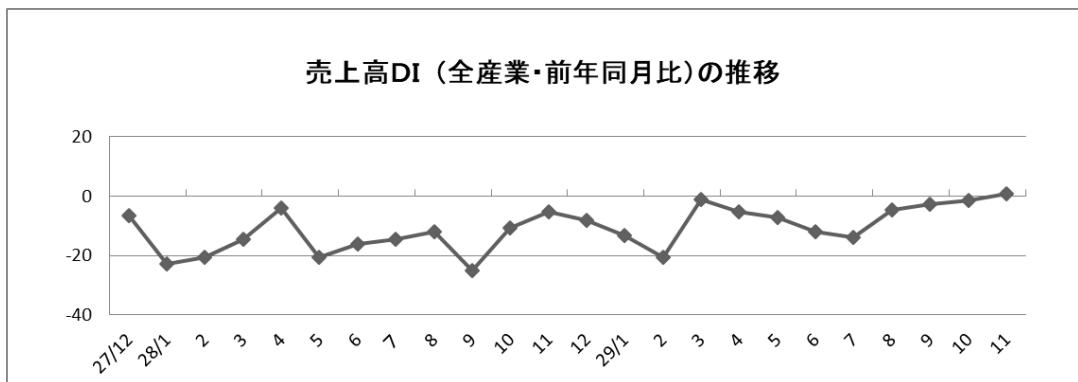
※ 「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

業況判断DI（全産業・前年同月比）の推移



2. 壳上高D I (前年同月比)

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲1.4）よりプラスに転じ、0.7となった。業種別に見ると、建設業はプラス幅が拡大した。飲食業、製造業はマイナスから0となった。卸売業は変わらず、サービス業はプラス幅が縮小し、0になった。小売業はマイナス幅が拡大した。

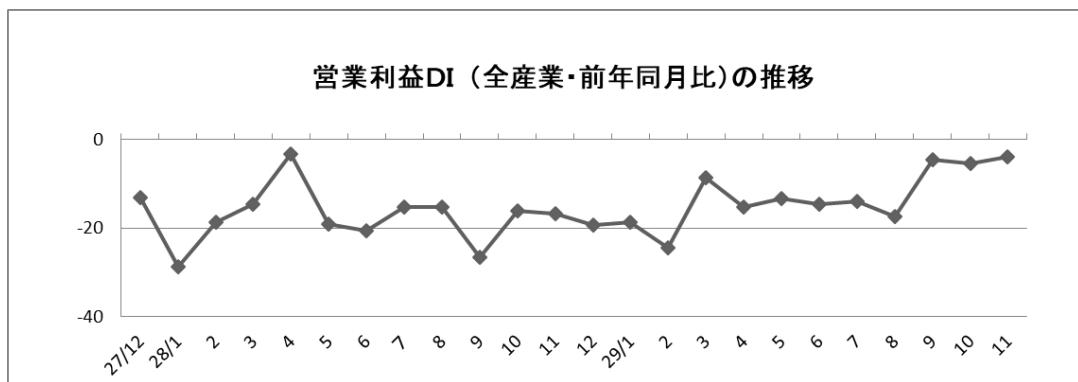


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全 体	▲ 5.3	▲ 8.0	▲ 13.2	▲ 20.6	▲ 1.3	▲ 5.4	▲ 7.3	▲ 12.0	▲ 13.9	▲ 4.6	▲ 2.7	▲ 1.4	0.7
建設業	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1	▲ 28.0	▲ 14.3	0.0	8.7	23.8	13.7	20.0
製造業	▲ 4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲ 9.1	0.0	▲ 31.8	8.7	5.2	▲ 4.5	0.0
卸売業	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4	0.0	20.0	0.0	13.4	13.4
小売業	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 15.2	▲ 16.1	▲ 12.9	▲ 20.7
飲食業	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 44.4	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	0.0
サービス業	6.8	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 11.6	8.9	▲ 4.6	▲ 5.0	0.0	2.4	▲ 22.5	▲ 4.2	4.9	0.0

3. 営業利益D I (前年同月比)

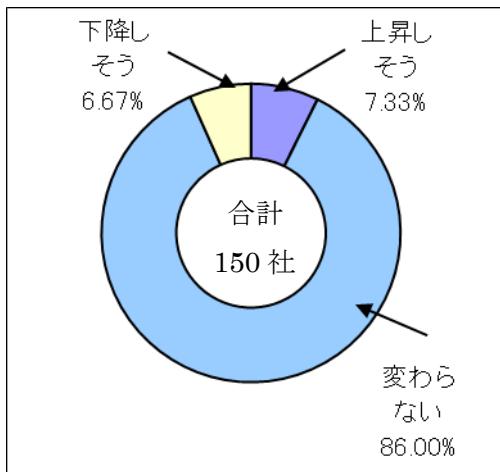
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲5.3）よりマイナス幅が1.3ポイント縮小し、▲4.0となった。業種別に見ると、建設業はプラス幅が縮小した。製造業はマイナスからプラスに転じた。飲食業はマイナスから0となり、サービス業はマイナス幅が縮小した。卸売業はプラスからマイナスに転じた。小売業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

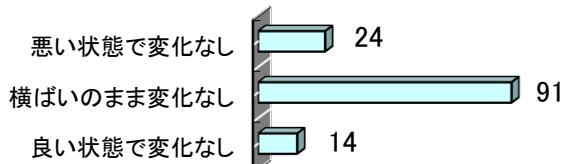
	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全 体	▲ 16.7	▲ 19.3	▲ 18.6	▲ 24.5	▲ 8.6	▲ 15.3	▲ 13.3	▲ 14.7	▲ 13.9	▲ 17.3	▲ 4.6	▲ 5.3	▲ 4.0
建設業	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 4.7	▲ 21.8	4.7	13.6	8.0
製造業	▲ 22.7	▲ 10.0	0.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 36.4	▲ 8.7	5.2	▲ 9.1	5.0
卸売業	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0	▲ 6.6	13.4	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3
小売業	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 17.6	▲ 21.2	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 20.7
飲食業	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0
サービス業	2.3	▲ 17.8	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 14.0	▲ 7.5	▲ 2.3	4.9	▲ 25.0	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 2.3

◆ 向こう3ヶ月の見通し ◆



○平成29年12月～平成30年2月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ3.36ポイント増加し7.33%、「下降しそう」が0.04ポイント増加し6.67%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.0)、製造業(▲5.0)、卸売業(▲6.7)、小売業(3.4)、飲食業(5.9)、サービス業(0.0)であった。

→「上昇しそう」では、「需要拡大が見込まれたため」(建設業)、「親会社の状況が好調なため」「安定した受注を確保できたため」(製造業)、「営業努力が実ってきているため」(小売業)、「忘年会、新年会シーズンなため」「12月の忘年会。1月の新年会に期待しているため」(飲食業)、「毎年の実績に基づいて」「新規プロジェクトの受注があるため」「ディーラーの決算が近づき、販売に見込みがある。また、車検の前倒しがあるため」「スキー場の状況が良いという情報が流れ、予約が増えているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

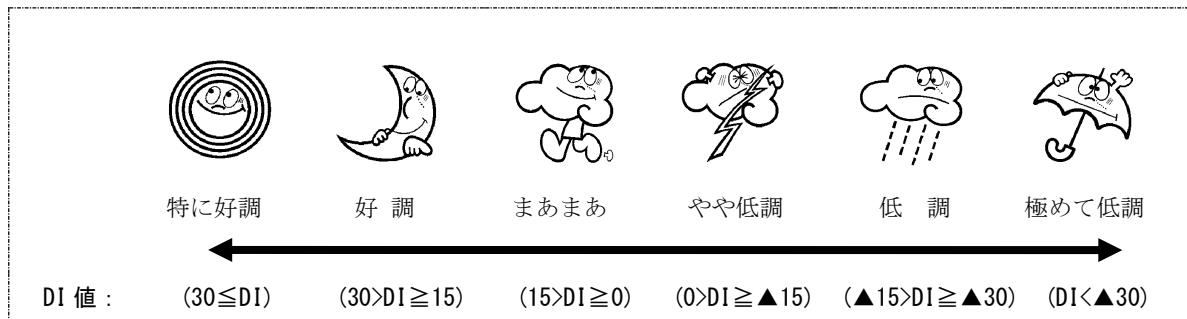


→「変わらない」では、「国の補正予算の影響が出てくるのはまだ先になるため」(建設業)、「ネット通販印刷への流れが止まらず、価格競争による受注争いも激化しているため」(製造業)といった声が寄せられた。

→「下降しそう」では、「この先の受注が少ないため」(建設業)、「毎年の傾向として」(製造業)、「今月の売上がとても良かったため」(卸売業)、「季節的な要因で観光と婚礼が減るため」「オフシーズンのため」「求人数の増加と求職者数の減少により職業訓練受講希望者が減少しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI君の景況判断>



1. 建設業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後 3 ヶ月
好 調	まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ (各項目別前年同月比)

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売 上 高	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1	▲ 28.0	▲ 14.3	0.0	8.7	23.8	13.7	20.0
受 注 量	▲ 20.8	▲ 39.1	▲ 30.0	▲ 18.2	▲ 5.2	▲ 38.1	▲ 40.0	▲ 33.4	0.0	▲ 8.7	9.6	18.2	4.0
受 注 単 価	▲ 16.6	▲ 21.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 4.8	▲ 12.0	▲ 4.8	4.8	0.0	4.7	▲ 4.6	0.0
営 業 利 益	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 4.7	▲ 21.8	4.7	13.6	8.0
見 通 し	▲ 4.1	▲ 4.4	0.0	4.6	10.5	0.0	16.0	9.5	14.2	4.4	0.0	▲ 4.5	4.0

<経営者の目・見方・e t c >

鉄工

- ・2020年の東京五輪の関係での需要が来年はいよいよピークを迎える予想である。その後の落ち込みを考えると極端な需要の盛り上がりでなく、平準化した状態が望ましい。その後に向けた社内体制作りを考えていかなければならぬ。

電気工事

- ・公共工事、民間工事とも下火で変化はない。静かな年末となりそうである。来年に期待したい。

管工事

- ・売上は良くなつたが受注利益が変わらないので利益に結びつかない。受注の在り方に課題がある。努力しかない。

土木工事

- ・新規事業として農業を考えているが、驚くべきことに種子法が廃止され農家は遺伝子組み換え米以外のお米をつくることができなくなると予想されている。この国はどうなっていくのだろうか。

2. 製造業



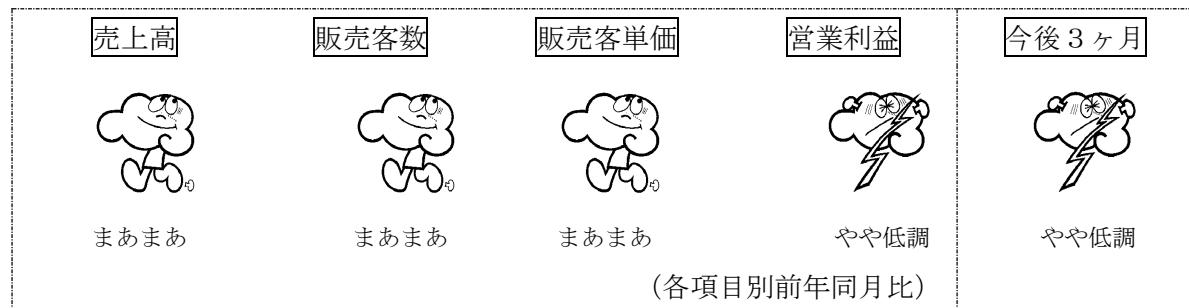
【項目別DIの推移】

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売 上 高	▲ 4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲ 9.1	0.0	▲ 31.8	8.7	5.2	▲ 4.5	0.0
受 注 量	▲ 13.7	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 4.5	▲ 15.0	4.2	▲ 18.2	0.0	▲ 27.3	4.3	15.8	▲ 9.1	0.0
受 注 単 価	▲ 27.3	▲ 10.0	▲ 18.2	0.0	▲ 5.0	▲ 16.6	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 27.3	▲ 4.4	▲ 10.5	▲ 18.2	▲ 15.0
営 業 利 益	▲ 22.7	▲ 10.0	0.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 36.4	▲ 8.7	5.2	▲ 9.1	5.0
見 通 し	0.0	▲ 5.0	0.0	9.1	▲ 20.0	▲ 4.2	▲ 4.5	▲ 4.7	▲ 4.5	0.0	▲ 5.3	0.0	▲ 5.0

<経営者の目・見方・e t c>

- | | |
|--------|---|
| 菓子 | ・野菜の値上がりが続くと、嗜好品である「流通菓子」の売上が伸びない。 |
| 印刷 | ・事業承継を済ませた企業と、そうでない企業との様相が業界内に徐々にではあるが現れつつある。事業承継を進められずに廃業したり、持続可能とは思えない価格競争を仕掛け、今代限りのような受注も見受けられる。一方で、事業承継を一旦済ませた企業でも新たに改革したり、関連新規事業を立ち上げたりしている企業と、先代の組織風土、仕事の仕組みなどが残り業務改善が進まずにいる企業もあるように見える。働き方改革を上手に活用したいものである。
・書籍関係は徐々に動き出しているが、受注状況は芳しくない。 |
| 金属塗装 | ・受注が増えていない。燃料費の高騰が徐々に進んでおり心配である。 |
| 合成樹脂加工 | ・民生品の受注は増加傾向。単価は低く、収益的には厳しさを増している。 |
| 紙器 | ・少しずつ上昇しているが、年明けはまだ不透明である。 |

3. 卸売業



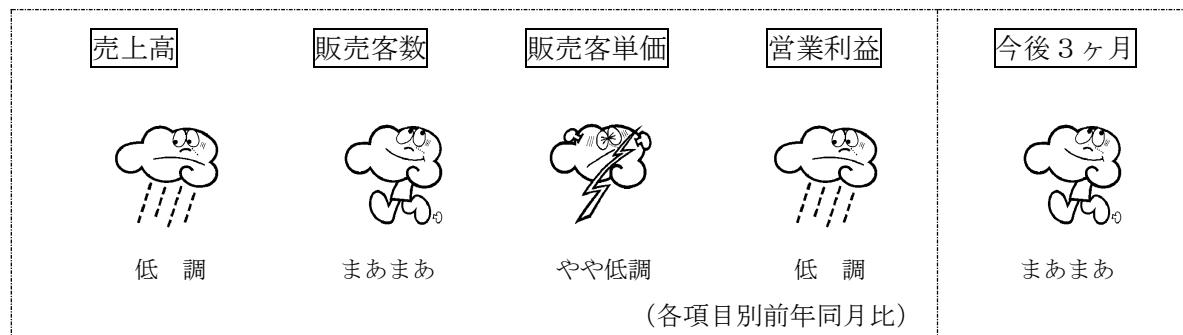
【項目別DIの推移】

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売 上 高	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4	0.0	20.0	0.0	13.4	13.4
販 売 客 数	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.2	0.0	▲ 20.0	6.6	6.7	0.0	▲ 6.7	6.6
販売客単価	6.3	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 14.3	0.0	▲ 26.6	0.0	6.7	▲ 8.4	6.6	13.3
営 業 利 益	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0	▲ 6.6	13.4	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3
見 通 し	0.0	▲ 6.3	0.0	0.0	8.3	7.1	8.3	▲ 6.7	▲ 13.3	6.7	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 6.7

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|------|---|
| 土産品 | ・春からの観光シーズンも終わり、改めて厳しい年だったと感じる。来て頂く、買って頂くといった待つ商売ではこれからより大変になると感じる。天候不順による影響もあるが、冬商戦に期待したい。 |
| 金属製品 | ・先月同様大きな変化はなく、製造業は好調である。鉄相場はまだ上昇する見込み。 |
| 機械工具 | ・特に半導体業界が活況である。現在、再来年の春ごろまで生産が見えている。ただ、そこに使われる伝動機器の納期も非常に長くなっている。 |
-

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 15.2	▲ 16.1	▲ 12.9	▲ 20.7
販売客数	▲ 23.3	0.0	3.1	▲ 41.2	▲ 8.3	▲ 3.0	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 17.6	▲ 9.1	▲ 16.1	▲ 22.5	3.5
販売客単価	▲ 20.0	6.4	▲ 12.1	▲ 32.3	0.0	▲ 11.7	▲ 5.9	▲ 20.6	▲ 23.5	▲ 24.3	▲ 19.3	0.0	▲ 10.4
営業利益	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 17.6	▲ 21.2	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 20.7
見通し	0.0	0.0	▲ 3.0	2.9	▲ 8.3	2.9	0.0	▲ 8.8	▲ 5.9	▲ 9.1	▲ 3.2	3.3	3.4

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|------------|--|
| 化粧品 | ・都市部のインバウンドによる売上の影響もあり、メーカーでの欠品がでてきている。 |
| 書籍・木のおもちゃ | ・書店経営を続けていく上で必要になってくるのは書籍だけでなく、どういった商品を仕入れて活性化を図ることができるかということだと思っている。試行は当分続く。 |
| 人形 | ・イオンモール松本へ行くと思われる若者の歩行者が激増した。 |
| 観光物産 | ・今月は団体客数と、食事利用が少なかった。来月から4月中旬は冬季休業となる。 |
| 住宅機器 | ・とても忙しい月となった。来月も続きそうである。 |
| ショッピングセンター | ・中心市街地の通行量の減少傾向が気になる。カーマーケットである松本では利用しやすい駐車場サービスが不可欠だと思う。 |
| 陶磁器 | ・市民祭は天候に恵まれ、多くの市民が東京ディズニーリゾートのパレードを楽しんだ。イオンモール松本が開店して2ヶ月が過ぎ、また日常に戻っては来たが、一度減った客足は元に戻ることはなさそうだ。そういう前提でこれから先の店舗運営をしていく必要がある。 |

パン

- ・原材料の値上げが増えてきている。しかし、販売状況からは売価の値上げを了解して頂ける見込みはない。ひたすら努力をするのみである。
- ・売上も安定し、新規の仕事依頼も来るが人手不足の問題があり積極的になれない。根本的にビジネススタイルを変える時なのか。
- ・毎年11月は静かな月で動きが無いことが多いが、今月は売上が上がり良かった。

生鮮食品

- ・象牙に対する世界の目が一層厳しさを増している。判子屋としての心構えがより重要となる。

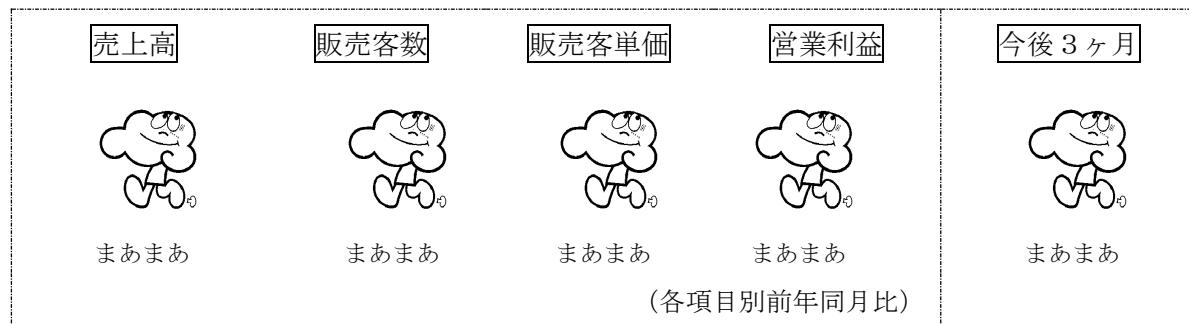
印章

- ・市民祭は東京ディズニーリゾートのパレードの集客により例年を上回る人出となった。テレビで犬山城の城下町には、インスタ映えするピンク色でハートの形をした絵馬のある神社や色鮮やかなお団子等があり、年間を通して人を呼び込む仕掛けがあると紹介されていた。

婦人服

- ・冬物の暗い色が多いショップがほとんどのなかで、ピンクやブルーといった色の打ち出しをバッグやストール等で行ったことが売上に繋がった。ディスプレイ力やコーディネート力が大切になる。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 44.4	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	0.0
販売客数	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 11.1	▲ 14.3	▲ 5.9	▲ 33.3	▲ 38.9	▲ 12.5	▲ 10.0	▲ 20.0	5.9
販売客単価	▲ 35.8	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 35.3	5.6	▲ 14.3	▲ 11.7	▲ 26.7	▲ 33.3	6.3	▲ 15.0	▲ 25.0	0.0
営業利益	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0
見通し	0.0	▲ 26.7	0.0	▲ 11.7	16.7	14.3	0.0	6.7	▲ 5.6	▲ 6.2	0.0	▲ 5.0	5.9

<経営者の目・見方・e t c>

そば

- ・全体的に良かった。しかし、11月後半になり大人数の予約も入りつつあるが年々減少しており、少人数での予約が増えている。忘年会の形態が変わりつつある。

郷土料理

- ・観光シーズンが終わりになって例年にならない不景気を感じる。イオンモール松本の影響か、消費低迷で外食を控えているのか、今を受けとめ様子をみていきたい。

仕出し料理

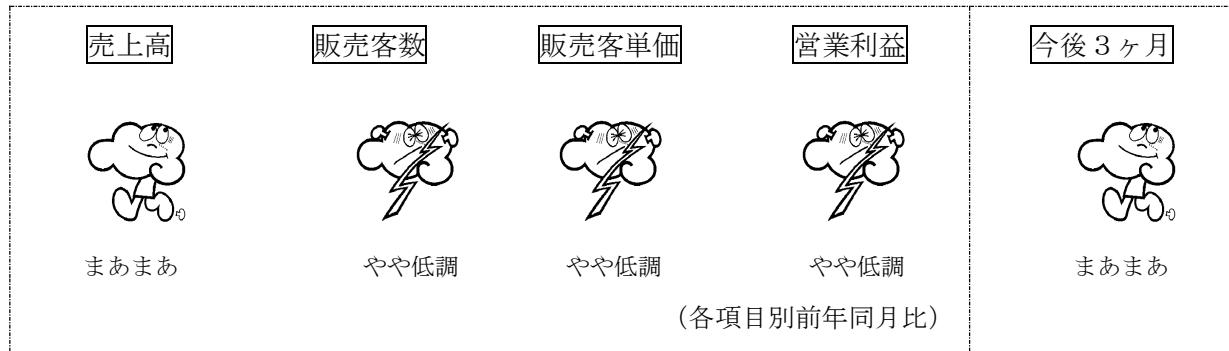
- ・人手不足のため苦慮している。夏場からの長雨、高温の影響により、青果の単価が高値であった。

中華料理

- ・土日の観光客来店数が増えてきている。イオンモール松本が開店し、買い物後に来店するお客様が増え、良い影響がでている。

- | | |
|----|--|
| 料理 | ・魚や野菜などの値上がりの動きが気になる。 |
| 喫茶 | ・来店客数に常連客の高齢化の影響を感じる。新規顧客の獲得には相当なエネルギーが必要だが頑張っていきたい。 |
| 食堂 | ・イオンモール松本が開店し、2ヶ月が過ぎ、平日は開店前の状態に戻っている。土日は家族連れが増えている。夜は暇である。 |
-

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売 上 高	6.8	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 11.6	8.9	▲ 4.6	▲ 5.0	0.0	2.4	▲ 22.0	▲ 4.2	4.9	0.0
販 売 客 数	4.6	▲ 11.1	▲ 17.7	▲ 14.0	4.4	0.0	▲ 7.5	▲ 2.3	▲ 2.5	▲ 24.4	0.0	0.0	▲ 2.3
販売客単価	6.8	▲ 2.2	▲ 4.4	▲ 7.0	0.0	2.3	0.0	9.1	0.0	7.4	▲ 4.2	9.8	▲ 4.6
営 業 利 益	2.3	▲ 17.8	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 14.0	▲ 7.5	▲ 2.3	4.9	▲ 24.4	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 2.3
見 通 し	4.5	2.2	8.9	0.0	6.6	7.0	▲ 5.0	4.5	0.0	▲ 4.9	8.5	▲ 4.9	0.0

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|----------|---|
| 自動車整備 | ・例年より寒さが早く来ている気がする。石油製品の値上がりも気になるところ。スタッドレスタイヤの売れ行きにも影響が出そうで不安である。 |
| 獣医 | ・獣医学新設の問題は様々な問題を抱えつつも、来年の4月に開学という方向が決まった。世界の獣医学に劣らないカリキュラムのことであるが実現には難題が残っているようにみえる。獣医学部がある他の大学も気になっているだろう。 |
| 観光旅館 | ・天候が安定しなかった10月に比べ、比較的良い天気が続き平年並みの入込となった。雪を見に来る台湾及び、タイなどの東南アジアのお客様が相変わらず多かった。 |
| 温泉旅館 | ・宿泊の動向も先月並みに良好であったが、冬場に向かい低下が心配。厳しい寒さを感じる。 |
| 旅館 | ・客足は天候に左右されやすい。 |
| ホテル | ・インバウンドについて、例年に比べ欧米系の団体が多かった。 |
| リラクゼーション | ・イオンモール松本は思ったほど混雑していなく、周辺の渋滞も予想していたほどではなかった。 |
| タクシー | ・11月14日には、沢渡、上高地の配車センターの閉所の作業を行い、今シーズンの同方面での営業を終了し、全車が市街地での営業となった。シーズン中の輸送実績はほぼ例年並みであった。 |

機械設計	・製造業はまだ忙しさが続いている。来期も続きそうである。
理容	・客単価が上がらず、状況が良くなつていかない。
ソフトウェア	・県内でも IT 関連の投資が増えているようにみえる。IoT を始めとしてビッグデータの活用が話題に上がっているが、中小企業にとっては内向きのデータ分析よりも、関連取引先を巻き込んだクラウドを活用するバリューチェーンの再構築といった流れを感じる。
測量・設計	・災害があり、仕事が増えた。
マナー講師	・この時期は特別な講座もなく横ばい。春になるのを待つばかり。
ホームクリーニング	・原油価格が上昇し、今後、製造原価が上がりそうである。
・リネンサプライ業	